

平成22年度「特定疾患医療受給者証」更新交付申請手続きについて

現在、特定疾患医療受給者証の交付を受けている方で、平成22年10月1日以降も引き続き交付を希望される方は、更新申請の手続きをしてください。

対象者／有効期間が平成22年9月30日までの受給者証をお持ちの方で、10月1日以降も引き続き、受給者証の交付を希望される方

申請期間／7月1日(木)～9月30日(木)

※受給者証がお手元に届くまでに2ヶ月程度かかりますので、お早めに申請してください。

必要書類／更新交付申請書、臨床調査個人票(診断書)、健康保険証、世帯全員の住民票など

※申請書類は、県加東健康福祉事務所から対象者のご自宅へ郵送しております。



【問合せ・申請先】 県加東健康福祉事務所地域保健課(〒673-1431加東市社字西柿1075-2) ☎0795-42-5111

肝炎インターフェロン治療費助成制度の改正について

B型・C型ウイルス性肝炎のインターフェロン治療費助成制度の内容が、4月1日から一部改正されました。

拡充内容／①助成対象に、B型肝炎に対する核酸アナログ製剤治療が追加になりました

②インターフェロン治療に係る2回目の助成制度の利用が可能になりました(一定の要件を満たす場合のみ)

③自己負担限度額の一部が引き下げられました(3万円→1万円、5万円→2万円)

経過措置／①②については、平成22年6月30日までに申請された場合、有効期間の開始時期を4月1日又は5月1日によって適用することができます

【問合せ・申請先】 県加東健康福祉事務所地域保健課(〒673-1431加東市社字西柿1075-2) ☎0795-42-5111

二種混合(ジフテリア・破傷風) 予防接種を受けましょう

二種混合(ジフテリア・破傷風) 予防接種は、乳幼児期に受けた三種混合予防接種の追加接種として行います。追加接種を受けることで予防効果が高まります。接種費用は無料です。

対象者／小学校6年生(平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれ)

接種場所／市内予防接種指定医療機関(接種前に予約を兼ねて、直接医療機関にご確認ください)

必要物品／母子健康手帳、体温計、健康保険証(本人確認のため)

※予防接種予約票は医療機関にあります。保護者同伴の上、予防接種を受けてください。



【問合せ】 国保健康課健康担当 ☎④8723 FAX④7521 kenko@city.kasai.lg.jp

ハチマルニイマル 8020達成者を表彰します

「8020運動」とは、いつまでも美味しく食事を楽しめるように、80歳になっても20本の歯を残すようにしようとする取り組みです。

市と加西市歯科医師会は、次に該当する「8020」を見事達成されている方を表彰いたしますので、ぜひ下記までお申し込みください。

※表彰には事前に市内歯科医師会員の各歯科医院が叮ぐるみ健診での歯科健診が必要になります。お申し込みいただいた方には詳しい歯科健診のご案内を後日郵送いたします。

対象／80歳以上の方(昭和6年4月1日以前生まれ)で、自分の歯が20本以上残っている方。

※ただし、以前に表彰を受けられた方はお申し込みできません。

締切／7月16日(金)



【申込先】 国保健康課健康担当 ☎④8723 FAX④7521 kenko@city.kasai.lg.jp

加西病院のコーナー

加西病院WEBサイト <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp/>

『診療報酬包括化(DPC) 導入の1年間』

■ DPC は急性期病院向けの制度

昨年度、加西病院は入院診療報酬を包括化する制度(DPCと言います)を導入しました。一つの病気に対して予め決められた一定の報酬額が支払われる制度です。国はDPCを、急性期医療を行う病院のための制度と説明し、北播磨圏では加西、小野、三木、西脇、大山の5病院が導入しました。1年が過ぎたところで、DPCを振り返りたいと思います。

■ DPCはおかしな仕組みに映る

DPCは分かりにくい制度です。例えば、入院期間で一つの病気の診療報酬しか請求できません。従って糖尿病で入院した患者さんが、併発している白内障の手術を受けたいと希望しても、一旦退院して再入院しなければなりません。患者さんにとってはおかしな制度と映ると思います。また仮に入院中に急性虫垂炎のような偶発症が生じて緊急手術をしても、病院は糖尿病が虫垂炎のいずれか一つの診療報酬しか請求できません。病院側からしてもおかしな制度です。

■ DPCは両刃の剣

しかし、矛盾はどのような制度にも付き物です。DPCは上記以外にも、入院期間が延びるほど報酬が少なくなるため、全国的に平均在院期間が短縮するといった様々な影響が出ています。国民も病院も制度変更がもたらす副産物を我慢するしかない側面があります。一方で、DPCは導入した全病院の情報が公表され、自院の医療を標準に近づける努力が行い易くなるという

利点があります。また包括化故に、効率的医療を行うことで経営改善が行われるという性質があります。

後者はDPCを両刃の剣にする性質があります。医療資源を十分に投入しない粗診粗療でお金が浮く、という仕組みが悪徳を誘発するのではないか、という懸念は制度設計当初から聞かれました。加西病院の1年をみる限りでは、そのような懸念は有りません。

■ 病院を支えるのは市民の力

日本の病院医療は今難しい地点に立っています。自治体病院では赤字が拡大し統廃合や縮小の波が押し寄せています。総務省自身が、公立病院ガイドラインでこの波を増幅しています。加西病院が今後活力をもって存続できるかどうか、市民や行政のDPC理解と病院支援が鍵の一端を握っています。毎度お願いになりますが、加西病院から在宅への退院調整に市民の協力を願います。次第です。(病院事業管理者兼院長 山邊裕)



【写真】 外来受付前にDPCの説明を掲示
加西病院が入院診療について診療費包括制度となったこと、包括化の簡単な説明を図で示しています。来院の折に、お目通しできれば幸いです。

■ 市立加西病院経営評価委員会を公開開催

市立加西病院改革プランの実施状況を検証する経営評価委員会を下記のとおり公開開催します。

日時・場所：7/15(木)14:00～ 加西病院2階講義室
問合せ：加西病院総務課 ☎④2200

第7回市立加西病院ホスピタルフェア

「みんなの加西病院 あなたの健康をサポートします」をテーマに、市立加西病院内で下記日程によりホスピタルフェアを開催します。参加費は無料です。

日時・場所／7月3日(土)9:00～12:00 市立加西病院1階、2階、3階

■ 主な催し

楽しいフラダンス：三浦美香フラダンス教室加西グループの皆さん

アカペラコンサート：実力派で愉快なアカペラグループ「ブラックガム」

医療相談コーナー：院長よろず相談、研修医ふれあい、ドック相談

パネル展示：病院の活動・取り組みなど

健康チェックコーナー：血圧、血糖、体脂肪、動脈硬化度、骨密度測定、聴力など

体験コーナー：健康飲料試飲、心配蘇生法、腹臥位療法、医療者制服着用体験など

講演会：閉塞性動脈硬化症について(講師/太田総一郎 循環器内科副部長)

※注意事項/動脈硬化度・骨密度測定は、当日に抽選。抽選は時間毎に行い、先着順ではありません。

【問合せ】 加西病院総務課 ☎④2200 FAX④3460 byoin@city.kasai.lg.jp

